


秘密保護法成立過程文書 情報公開訴訟の現状

2016.3.26 at 愛知県弁護士会
愛知県弁護士会秘密保護法対策本部
事務局長 新海聡



秘密保護法反対運動への 政府の対策か？

- ・有識者会議(2011年8月)報告書
 - 法案を全く公開せず官僚内部で議論
→市民は関心を持ちようがない
 - 2012年3月開示請求
- ・パブコメ募集(2013年9月)
- ・閣議決定(2013年10月25日)
- ・国会強行採決(2013年12月6日)



特別秘密の保護に関する法律案(仮称)の概要(案)


我が国の防衛、外交又は公共の安全と秩序の維持に関する事項のうち特に秘匿を要するものを特別秘密として保護するため、行政機関における特別秘密の指定、特別秘密を取り扱う者に対する適性評価の実施等の特別秘密の管理に関する措置、特別秘密の漏えいに対する罰則等について定める。

第1 香子

第2 留置事項

開示された概要


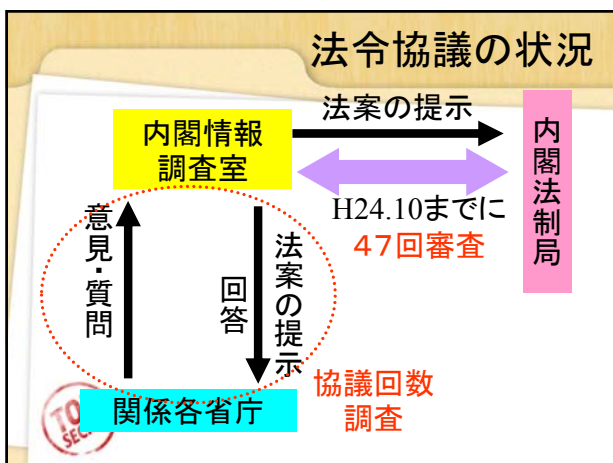
法案・協議内容
全部非公開



不開示理由

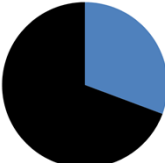
- ①・不当に国民の間に混乱を生じさせるおそれ
 - ・担当者に対し、筋違いの批判等を招き
嫌がらせやいたずら、偽計といった圧力や
干渉等の影響のおそれ(5号)
- ②他国との信頼関係が損なわれるおそれ(3号)
 - ???

2012/11/21提訴(2011年8月-2012年3月分)





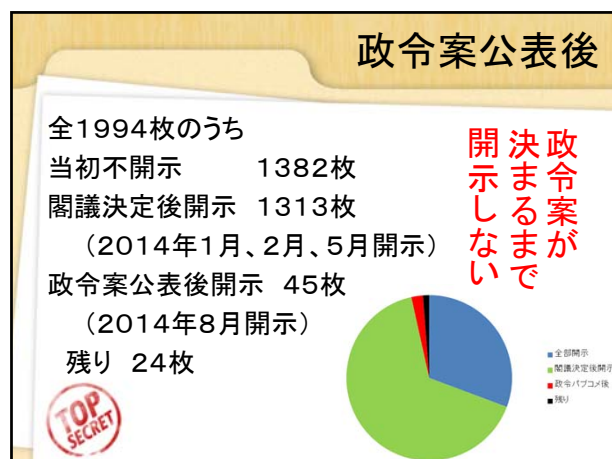
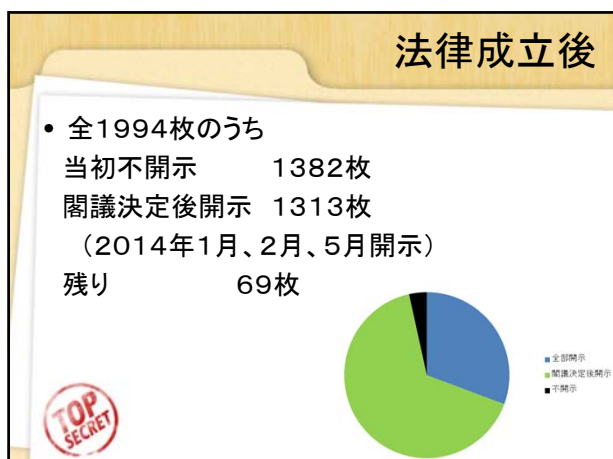
当初(2012年5月、9月)

- ・全1994枚のうち
当初不開示 1382枚



■全部開示
■不開示





開示された文書から分かること

閣議決定後に開示(国会議員も内容知らず)
(入手したのは法案成立直前・後)

- 警察庁すら懸念を表明
「公判廷にできる可能性があれば公判請求しないのでは?」
「外形立証制度を法律に書いてはどうか」
→内調「憲法と直接絡んでくるため、
そこまでコストをかけるのか」

TOP SECRET



いまだに不開示の24枚は?

諸外国に於ける秘密保護違反事件の刑事司法
手続きにおける秘密保護制度(4枚)
→相手国担当官に聴取したこと
公開しないという暗黙の了解(3号)

☆外国から得た情報は皆外交情報か?

TOP SECRET

いまだに不開示の24枚は?

その他20枚
2014年9月3日 進行協議
国「これまでの不開示理由
(不当な混乱—5号)を
外交情報(3号)に差し替えたい」
→秘密保護法の副作用?

TOP SECRET

名古屋地裁 不当判決

- 2015年10月15日 全面敗訴
- 【争点1】当初国が主張しなかった「外交上の秘密」で不開示の是非
→裁量権の逸脱なし
- 【争点2】「機密性2情報」「取り扱い注意」指定していないのに「外交上の秘密」
→情報公開と機密指定は別



名古屋高裁

- 高裁裁判長
- ①5条3号に該当するのに、どうして一部を除いて機密指定がなされていないか。
- ②どうして最初から3号外交情報と言わなかったか
国に具体的な主張を求める

次回 4/22(金) 13:30-



訴訟の意義

- ・法律成立後まで開示しないという国の対応
- ・法5条3号
→外交情報の不当な拡大を阻止
- * 訴訟以外に3号を理由とする不開示の拡大を防止する方法があるか。

